

博士論文の審査結果の要旨

専攻	医学	分野	基礎医学
学籍番号		院生氏名	石井貴弥
通学キャンパス			
論文題目	A novel categorization of the muscular branches of the tibial nerve within the popliteal fossa (邦題：ヒト膝窩部脛骨神経筋枝の新しい分類の提案)		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1) 主論文について</p> <p>本研究では、正常人体解剖実習で使用された31体のご遺体を対象として、膝窩部における脛骨神経の筋枝分岐のパターンが検討された。実際には脛骨神経の腓腹筋内側頭枝および外側頭枝、ヒラメ筋枝、足底筋枝、膝窩筋枝の分岐パターンが肉眼解剖学的に解析された。結果として、腓腹筋内側頭枝および外側頭枝、ヒラメ筋枝を後方分岐群、足底筋枝、膝窩筋枝を前方分岐群と分類することができた。さらに後方分岐群の分岐パターンは3つに、前方分岐群の分岐パターンは2つに分類されることが明確に示された。各筋枝についての組織学的検討も行われ、それにおいては各筋枝で軸索の数およびその総断面積が異なることが示された。</p> <p>本研究については、倫理的問題を含めてその遂行方法に特に問題はなく、論証の進め方も適切であるものと判断された。</p> <p>本研究の新規性は、これまでは世界的にも明らかにされていなかった脛骨神経分岐の分岐形式を詳細に検討したことであり、結果的にその分岐形式に関する新たな分類方法を提唱するにいたった。この知見は、解剖学および運動学の発展に貢献する研究成果として高く評価することができる。</p> <p>なお、副論文の内容についても、特に問題はみられなかった。</p> <p>2) 口頭試問について</p> <p>口頭試問においては各審査員から複数の質問が出されたが、いずれに対しても総じて適切に応答した。しかしながら、「分岐パターンの分類方法の詳細を説明せよ(特に、分岐レベルの判定方法について)」との質問に対しては、審査員を納得させる回答をすることができなかった(研究遂行の際において、この点の配慮がやや不十分であった可能性が示唆された)。また、「論文の中に、査読者の指示に盲目的に従い、著者自身が理解していないことが記載されている」ことが確認された。これらの点については、今後さらに本研究を進める際に注意すべきと思われたため、その旨を審査員から忠告した。</p> <p>3) 合否</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員が、本論文が著者に博士(医学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 角田 亘</p> <p>副 査 村瀬真一</p> <p>副 査 久保晃</p>		